

特別委員会報告

全員審査特別委員会

1. 予算の組み替えについて

6月定例会で審議された一般会計の補正予算では、まちづくり交付金等が社会資本整備総合交付金に統合されることによる大幅な組み替えがありました。これに併せ、関連事務費が交付金事業から起債対象事業や一般会計の負担になりました。

2. 子育て関係

地域子育て支援センターが奥越地域地場産業振興センターへ移転することに伴い、同センターの敷地に砂場を整備する予算が計上されました。委員会では利用する子どもの安全面、利便性の対策について話し合われました。

3. 観光施策

開館10周年記念の年となる恐竜博物館は、多くの

来館者が予想されています。この来館者をまちなかへ誘客するため、観光PR推進事業でチラシや観光パンフレットを作成し、NPO法人にPR活動を委託するなどの意欲的な取り組みが予定されています。

4. 教育関係

コア・ティーチャー養成事業費では、算数の応用力を育む教育の中核を担う先生を育成するための予算が計上されました。

また、一部公民館で実施されている合宿通学に充てられる経費が県の事業として計上されました。

その他、少額ではありますが、幼稚園や小学校の給食で米粉入りのパンを推進するための事業に予算が計上されました。

総合計画特別委員会

5月28日と6月23日に開催された総合計画特別委員会では、第5次勝山市総合計画策定のための基本的な考え方、市民アンケート結果の概要や「小・中学校の再編、新体育館の建設」も含めて、今後の地区別座談会等で説明する内容について説明がありました。

今後、順次開催される地区別座談会等では、市の基本方針案を説明する中で市民の皆様からの意見を集約することでした。その後、集約内容を改めて議会等に報告するとともに座談会等の意見を尊重しながら、更に議論を深めていきたいとの報告を受けました。

委員からは

①地域や各種団体だけでなく、保護者などへの説明

も必要である。また、座談会等には、多くの市民の皆様が参加していただけるよう工夫するべきである。

②新体育館の維持管理費をはじめ、主たる施策にかかる財政見通しを精査すべきである。

③第5次総合計画の策定にあたっては、市民アンケートの結果や第4次総合計画の検証を踏まえて、市民に分かりやすく説明するべきである。

など、多くの提案がなされました。

市は、座談会等で、各界各層の意見を十分に聞きながら、議会にも報告して計画策定作業を進めていきたいとのことでありました。

委員会では今後とも市民の皆様の見解を十分踏まえ、種々議論を重ねていきたいと思っております。

トピックス

永年勤続表彰

北信越及び全国の市議会議長会から、清水清蔵議員、笠松捷多朗議員、村田與右工門議員の3名が、10年以上議員在職の表彰を受けられました。



清水議員



笠松議員



村田議員